

最近の華北の建設と道路

S
G
生

新中央政府の誕生

聖戰五ヶ年……支那本土の半以上を占むる皇軍占領地域にあつては新生支那は夙に生成して漸くその枝葉の繁きを見るやうになつたのである。即ち北支には昭和十二年十二月の十四日北京に中華民國臨時政府が生まれて間もない、その翌年の十三年三月二十八日には中華民國維新政府が中支の南京に誕生したのであつた。また内蒙には蒙古聯合自治政府が昭和十四年九月一日に張家口に成立したが、この外に福州、汕頭、厦門、海南島、寧波の各地に治安維持會、漢口、廣東に省政府が出来上つたのである。かかる形勢の内に汪精衛氏は昭和十三年十二月十八日に重慶を脱して佛印河内に遁れ、同二十八日に和平建國の第一聲を發してより、この運動は日を逐うて擴大發展して、遂に昭和十五年三月二十八日に至つて南京に還都の形式をとつて新支那中央政府が樹立

されたのであつた。而して臨時、維新の兩組織は發展的に解消をなして、曩に北京に生れたる中華民國臨時政府は華北政務委員會となつて、茲に新らしく登場したのであつた。かくて北支の臨時政府は解散を宣し、維新政府も亦成立二周年の記念式典を最後として解散をなし、汪氏建設の新政府に合體すべき聲明を行つたのである。

日華提携の實證

爾來新中央政府は諸般の事情から參戰してゐないと雖も、我國と密接なる關係の下に所謂日華相提携して以て大東亞戰爭に戦ひ抜かんとする信念と固き決意を率直に披瀝して、正に我國がなくしては中國なしとの深き認識と洞察の下に、着々として各般の設備を整へその業績は相當に見るべきものがあり、時局に相應してその發展の一路を辿りつゝあることは誠に喜ばしいことである。

這般中華日報はその社説に於て。

中國が同甘せんとすれば先づ共苦すべく、共苦して始めてよく同甘し得べく、武力戦には参加しないと雖も、經濟戦と思慮戰においては中國の民衆は日本の國民と同様に刻苦して最後の勝利を求むべきであると言々

と云つて我國の運命を中國の運命として着々内部行政の強化、内部諸般の施設、經濟的發展等に力を致してゐるのである。

華北の建設事業道路

而してこれを華北の建設事業を見るに、一體北支軍の連續的肅清討伐と、これに伴ふ建設諸工作の進展とによつて華北は現在に於ては、大東亞戰下の強力なる所謂兵站基地としての重大役割を課するに至つてゐる。而して他方面は別としてこれを土木事業方面から觀察すると、華北政務委員會建設總署が中心となつて華北建設の狀況は、先づ道路關係に於ては華北に於ける事變以來の自動車の運轉可能道路は約二萬四千軒であつたが、この道路が事變勃發後の重慶軍の破壊等によつて一時は殆んどその運行は不可能にして全く杜絶の状態になつてゐたのであつたが、建設總署では去る昭和十三年度から工費約四千餘萬圓を以て鋪裝または補修に着手して以來、昭和十六年度未現在に於ては道路の總延長は三千六百軒に達したのであつた。更に本年度からは北京、天津間の鋪

裝道路計畫第三年度として全長百三十軒の殘部の五十五軒の鋪裝及び、京津道路を塘沽まで延長することとして、この全長三十二軒の地盤工事も既に着手してゐるが、近く完成することになつて居る。また他方昭和十六年度から起工した北京と濟南を繋ぐ百十軒の砂利道も今年の九月未現在ではその全長の約六割までが完成した有様である。この外にも華北各地の本年度計畫の補修建設道路は總て何れも順調に進捗してゐることである。而してこれに當る技術者は何れも我國の優秀なる技術員が熱心に携はつてゐるのである。

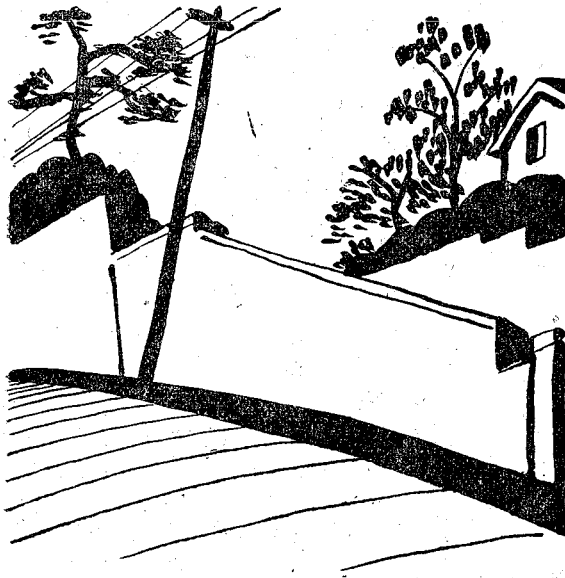
近代都市化と治水事業

更に華北諸都市の新生過程を見ると、各都市別に都市建設計畫を樹立して、去る昭和十四年度から總經費二千八百餘萬圓の豫算を以て北京、天津、濟南、徐州、石門、太原、青島、新郷、塘沽の九都市の近代都市化に邁進してゐる。更に今年度からは保定及び渾山の諸都市の近代化に着手して都市の道路鋪裝其他の設備を着々と進めてゐるが、計畫地としては山海關、運城を始め華北中樞都市約三十數ヶ所を選定して居る外に、都市の要塞工事に付ては、天津、塘沽、開州、太原、石門の各都市等は既にその工事が完了したと云はれてゐる。更に華北建設總署は華北に於ける河川の特異性をこれまで科學的に研究して治水計畫に着手すること

となし、而してこれを灌溉と洪水の對策に力を集中して、以て治水事業を着々と進捗してゐたが、特に今年度からはこれが五ヶ年計畫を樹立して、工費一億五千餘萬圓を以て第一次惠民土木事業といふ名目の下に八萬八千町歩の水田開發と棉花、麥、雜穀類の各耕地擴大並に水運のために石門と天津間の三百三十料の運河開發を實行することとしたのである。

我が技術の粹を蒐む

而してこれと併行して冀東河及び蘆運河、冀中滹沱河の三工事の建設を建設總署の直轄工事として既に今年四月から着工したのである。この工事は我が技術者に依つて我が河川技術の粹を蒐めて以て一日平均三萬人の苦力を使つて、現在では既に灤河の水路工事の約七割、蘆運河の採水路及び用水路工事の約八割は竣工してゐることである。また、石太線北側石門の西北約三十五料の採水堰堤工事並に石津運河は何れも全工程の六割までは進捗して居ることである。更にあと月の九月からは石門、小鎮間百三十料の新運河の全面的掘鑿に着手したやうである。更にその他にも地方事業として河北、山東、山西、河南、の各省に於て水田開發十八地區、耕地灌溉八地區を起工して、以て全華北の水田開發事業は實に見るべき發達をなさんとしつゝある。これを見ても華北の逞しい建設事業が着々として進捗しつゝあるかゝ窺はれる



のであるが、爾來我國と支那は東亞に於ける同種同文の國として政治的、軍事的、經濟的、文化的に固く相提携協力を促進して東亞の興隆に資し、併せて東亞の興隆に依つて各加盟國の興隆に資せねばならないことは絮説するまでもない。斯の如くすることに依つて東亞諸民族の一體性を發揚されるのである。こゝに華北の飛躍的發展を見て吾人は意を強くする次第である。